

宇宙開発の現状報告

(平成 20 年 12 月 17 日(水) ~ 平成 20 年 12 月 23 日(火))

平成 20 年 12 月 24 日
宇宙開発委員会事務局

- ナイジェリア初の通信衛星、運用機能を停止

【中国、ナイジェリア】

12 月上旬明らかになったところ、太陽電池パネルの不具合により運用機能を停止しているナイジェリア初の通信衛星「ニグコムサット 1 (Nigcomsat-1)」の代替機に関し、ナイジェリアと中国との間で協議を開始したとのこと。

「ニグコムサット」: 中国長城工業総公司 (CGWIC) が受注、中国空間技術研究院 (CAST) が開発・製造し、昨年打ち上げられたナイジェリア初の通信衛星。太陽電池パネルの不具合により今年 11 月に運用機能を停止した。

- 米 NOAA の静止気象衛星、燃料漏れの不具合発生 【米】

12 月 17 日(水)、米国海洋大気庁 (NOAA) は、静止気象衛星「GOES-12 (GOES-East)」のスラスタに燃料漏れの不具合が発生したため、同衛星に代わり、静止気象衛星「GOES-13 (GOES-N)」が、GOES-East 用の観測を行っていると発表した。GOES-12 は、12 月 14 日(日)22 時 18 分(世界標準時)から運用を停止しており、同不具合の原因調査が行われている。

- アリアン 5 ロケット、通信衛星 2 機の打上げに成功【仏】

12 月 20 日(土)22 時 35 分(世界標準時)、アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターよりアリアン 5 ECA ロケットを打上げ、ユーテルサット (EUTELSAT) 社の 2 機の通信衛星、「ホットバード 9 (HOT BIRD 9)」及び「W2M」のの所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は 4,884 kg (ホットバード 9) 及び 3,463 kg (W2M)。